

現代版湯治文化の再構築 温泉療養保健制度とクアハウスへの挑戦



竹田市役所直入支所

1

市内各地の温泉

竹田市には岡藩の時代から湯治場として親しまれてきた「長湯温泉」や「七里田温泉」のほか、久住高原には「赤川温泉」や「久住温泉」など個性的な温泉が数多く点在している。最近では城下町などにも「竹田温泉」や「荻の里温泉」「白丹温泉」などが湧出しており、市内全域で温泉を享受できる温泉都市となっている



2

湯温泉の温泉力



炭酸泉の価値に注目した先人

昭和初期には、長湯温泉の炭酸泉の価値に注目しドイツで温泉治療学を学んだ九州帝国大学の松尾武幸博士によって長湯に温泉研究所が設置された。



昭和初期の長湯温泉と
竹田を結ぶバス



長湯の炭酸泉に注目した松尾博士

4



温泉療養保健システム
 療養の滞在（温泉に入って宿泊）に保健が適用される

温泉パスポートの使い方

パスポートの使い方 本パスポートをお持ちの方は、対象施設で3種類の特典が受けられます。

特典1 対象宿泊施設利用分 保健適用 申請が必要です!
 期間中3泊以上ご宿泊の方
 1泊につき ¥500 (14泊を上乗せします。)

特典2 対象立寄入浴施設利用分 保健適用 申請が必要です!
 1回ご利用に付き200円が保健適用されます。
 ¥200 (1回) (1宿泊につき2回までを上限にします。)
*立寄入浴料金が無料もしくは200円未満の場合はスタンプは押しません。

特典3 その他スペシャル特典 パスポートを提示するだけでOKです!
 各施設の受付またはレジにて本パスポートをご呈示ください。食事、体験イベント等々、様々な施設でスペシャル特典が受けられます。
 (別紙パンフレット参照)

保健適用までの流れ

- 1 受取り** 本パスポートを窓口で受け取ってください。(P21に記載)
- 2 滞在** 滞在期間中対象の立寄入浴施設、宿泊施設で本パスポートにスタンプを押ししてもらってください。
 ●宿泊施設スタンプページはP13,14
 ●立寄入浴施設スタンプページはP15,16
- 3 申請** 本パスポート付属の保健申請必要書類に必要事項を記入し、切り離して竹田市観光ツーリズム協会にご提出ください。詳しくは次ページ(P12)に記載しています。必ずご確認ください。
- 4 届込** 後日、ご指定の口座にお振込いたします。(毎月末締め、翌月15日払い)

温泉療養保健 5年間（平成23～27年度）の推移

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
発行部数	783冊	912冊	1,057冊
申請者数	543人	628人	657人
宿泊総数/平均	2,877泊/5.2泊	3,470泊/5.5泊	3,505泊/5.3泊
立寄入浴数/平均	1,208回/2.2回	1,176回/1.9回	2,237回/3.4回
給付金額/平均	1,680,100円 /3,094円	1,961,300円 /3,128円	2,180,900円 /3,319円
	平成26年度	平成27年度	発地データ
発行部数	1,115冊	1,087冊	九州 54%
申請者数	760人	763人	(うち大分県7%)
宿泊総数/平均	3,949泊/5.2泊	4,014泊/5.3泊	関西 16%
立寄入浴数/平均	1,220回/1.6回	1,823回/2.4回	関東 10%
給付金額/平均	2,218,500円 /2,919円	2,371,800円 /3,109円	その他20%



温泉力地域協力協定締結
 北海道豊富町（豊富温泉）
 秋田県仙北市（玉川温泉）
 大分県竹田市（長湯温泉）



国民宿舎直入荘

国民宿舎直入荘を国民保養温泉地の新たな拠点施設として、温泉利用型健康増進施設（クアハウス）を目指して再整備する。



クアハウスの基本構想（全体パース）



全体構想図

(クアハウス・宿泊棟・レストラン)



運動浴・歩行浴



